

年間指導計画 及び評価規準

【知技】…知識技能 【思判】…思考判断 【主体】…主体的に学ぶ

学期	月	単元名	評価規準	
1 学期	4	つづけて みよう 日記	【知技】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。 【思判】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 【主体】積極的に経験したことから書くことを見付け、学習の見直しをもって日記を書くこととしている。	
		「えいっ」	【知技】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 【思判】「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 【主体】積極的に自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、学習課題に沿って質問に答えようとしている。	
	5	すみれと あり	【知技】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 【思判】「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 【主体】進んで時間的な順序や事柄の順序などを考え、内容の大体を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。	
		「生きものクイズ」を作ろう	【知技】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 【思判】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 【主体】積極的に必要な事柄を集めたり確かめたりし、学習の見直しをもって「生きものクイズ」を作ろうとしている。	
	7 8	きつねの おきゃくさま	【知技】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 【思判】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 【主体】進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って好きな場面を発表しようとしている。	
			わにのおじいさんのたからもの	【知技】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 【思判】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 【主体】進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って登場人物に手紙を書くこととしている。
	2 学期	9	町の「すてき」をつたえます	【知技】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 【思判】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 【主体】積極的に事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、今までの学習を生かして報告する文章を書こうとしている。 【主体】進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見直しをもって考えた言葉を発表しようとしている。
			さげが大きくなるまで	【知技】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 【思判】「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 【主体】積極的に文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、学習課題に沿ってさげが大きくなる様子を説明しようとしている。
おもしろいもの、見つけたよ			【知技】身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っていると、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにしている。 【思判】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 【主体】進んで文章に対する感想を伝え合い、学習の見直しをもって記録する文章を書こうとしている。	
10		ないた赤おに	【知技】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 【思判】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 【思判】進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って心に残ったところを文章にまとめようとしている。 【主体】進んで伝えたい事柄や相手に応じて声の大きさや速さなどを工夫し、今までの学習を生かして聞いたことを伝えようとしている。	
			「クラスお楽しみ会」をひらこう	【知技】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 【思判】「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 【主体】積極的に互いの話に関心をもち、今までの学習を生かして少人数で話し合おうとしている。
11		「しかけ絵本」を作ろう	【知技】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 【思判】「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 【主体】進んで時間的な順序や事柄の順序などを考え、学習課題に沿って「しかけ絵本」を作ろうとしている。	
			おもちゃのせつめい書を書こう	【知技】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 【思判】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 【主体】粘り強く語と語や文と文との続き方に注意し、学習の見直しをもって説明する文章を書こうとしている。
3 学期		1	かきこじぞう	【知技】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 【思判】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 【主体】進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見直しをもって音読発表会をしようとしている。
	むかしのあそびをせつめいしよう		【知技】姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 【思判】「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。 【主体】進んで相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、今までの学習を生かして音の遊びの遊び方を説明しようとしている	
	2	こんなことが できるようになったよ	【知技】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 【思判】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 【主体】積極的に、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりし、学習の見直しをもって文章を書こうとしている。	
			アレクサンダとぜんまいねずみ	【知技】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 【思判】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 【主体】進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもち、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。